

2. 事後調査を行った理由

事後調査を行った理由を表 2-1 に示す。

表 2-1 事後調査項目と実施理由

環境要素の大区分	環境要素の区分	調査項目	事後調査を行った理由
地形及び地質	重要な地形及び地質	足神神社の湧水	足神神社の湧水については、工事の実施による影響を回避又は低減するために、施工管理の一環として地下水監視調査を行うとともに、湧水の枯渇等が生じた場合には工事中の環境保全措置として湧水の代償を検討します。これにより、供用後における影響も回避又は低減されると考えられます。ただし、地下水の予測には不確実性があり、また、工事中の環境保全措置の効果にも不確実性があるため、供用後の環境影響の程度が小さいことが明らかに言えないことから、予測の不確実性を検証するために事後調査を行います。
動物・植物・生態系	動物	クマタカ	工事区域の視認、建設機械の稼働、工事用車両の運行による影響を回避又は低減するために、クマタカの馴化を目的とした資材や建設機械の搬入を環境保全措置として実施します。ただし、工事の影響について不確実性があるとともに、環境保全措置の効果においてもクマタカの馴化について不確実性があり、工事中の環境影響の程度が小さいことが明らかとは言えないことから、予測の不確実性を検証するために事後調査を行います。
		アカイシサンショウウオ及びヒガシヒダサンショウウオ ^{※1}	工事の実施、道路の存在及び供用において影響を回避又は低減することが困難な場合に、個体を捕獲し移動させます。ただし、地下水の予測に不確実性があるとともに、環境保全措置の効果については移動適地の有無、移動後の定着等について不確実性があり、工事中及び供用後の環境影響の程度が小さいことが明らかとは言えないため、予測の不確実性を検証するために事後調査を実施します。
		鳥類	長野県側で現地調査において確認されている注目すべき種のうち、静岡県側で確認されていない種があるため、移動性の高い鳥類の特性を考慮して、事後調査を実施します。
	植物	シデシヤジン	工事の実施、道路の存在及び供用により間接的影響を受けると予測される個体について移植を実施します。ただし、環境保全措置の効果には移植の必要性、移植適地の有無、移植後の定着等について不確実性があるため、供用後の環境影響の程度が小さいことが明らかとは言えず、予測の不確実性を検証するために事後調査を実施します。
	生態系	ネバタゴガエル ^{※2} ※クマタカ及びアカイシサンショウウオ、ヒガシヒダサンショウウオは上述のとおり	クマタカ、アカイシサンショウウオ及びヒガシヒダサンショウウオ ^{※1} は、上述と同様の理由で事後調査を実施します。ネバタゴガエル ^{※2} は、産卵場所のある上流部の表流水・浅層地下水の流量の変化は小さいと想定されますが、地下水の予測に不確実性が残るため、予測の不確実性を検証するために事後調査を実施します。
		動物相・植物相 (表流水が減少すると想定される溪流等)	トンネルで通過する沢部の表流水は、工事中及び供用後も地下水への影響は小さいと考えられます。ただし、地下水の予測には不確実性があるため、工事前から一般種も対象として生息種・生育種の記録のための調査を行います。
動物相・植物相 (工事施工ヤード)		工事施工ヤードの設置にあたっては、生態系への影響に配慮して計画を具体化し、及ぼす影響を把握するとともに、保全措置を検討し適切に実施しますが、計画に不確実性があるため、事後調査を行い生態系の変化を把握します。	

※1 環境影響評価時には、「ヒダサンショウウオ」であったが、平成 30 年に「ヒガシヒダサンショウウオ」として新種記載された。


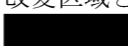
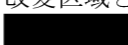
※2 環境影響評価時には、「タゴガエル」であったが、平成 26 年に「ネバタゴガエル」として新種記載された。

3. 事後調査の項目及び手法

表 3-1 施工管理の一環として実施する項目

調査項目	調査地点	調査期間	調査頻度	調査方法
河川水質	翁川における濁水等の処理施設の排水口より下流側	土工工事着手前からトンネル工事に実施	春季、夏季、秋季、冬季 各季1回	環境基準に準拠した方法
工事による排水、地下水位	工事による排水：公共用水域の排水口 地下水位：トンネル予定地周辺	土工工事着手前からトンネル工事に実施	工事による排水：1回/月 地下水位：1回/月	工事による排水：水質汚濁防止法に準拠した方法 地下水位：孔内水位常時監視により実施
トンネル掘削による地質	採取した試料を現地にて試験実施	トンネル工事中	採取した試料を順次試験	土壌汚染対策法に準拠した溶出量試験
建設発生土	採取した試料を持ち帰り室内にて試験実施	建設発生土が発生する期間	建設発生土を他に利用する前に実施	土壌汚染対策法に準拠した含有量試験

表 3-2 予測・評価、環境保全措置の結果に不確実性が伴う項目

環境要素の区分	環境要素の区分	調査項目	調査地点	調査期間	調査頻度	調査方法
地形及び地質	重要な地形及び地質	足神神社の湧水	足神神社の湧水及びその周辺（翁川下流部）	トンネル工事に実施	毎年1回（断面法）及び常時監視	断面法及び自動記録水位計の常時監視
動物・植物・生態系	動物	クマタカ	クマタカの営巣地（  ）	土工工事着手前からトンネル工事に実施	12月～8月までの月1回	定点観察調査、林内踏査
		アカイサンショウウオ及びヒガシヒダサンショウウオ ^{※1}	過年度生息が確認された沢 個体の移動先	1地点は橋梁工事中3年毎に実施、残りはトンネル工事中3年毎に実施 移動後3年間実施	梅雨期、初冬各1回 梅雨期、初冬各1回	任意観察調査（改変予定地内で確認された個体捕獲して移動） 任意観察調査
		鳥類	【一般鳥類】 改変区域とその周辺（  ） 【フクロウ類】 改変区域とその周辺（  ）	土工工事着手前1年間実施 土工工事着手前1年間実施	春季、繁殖期（初夏）、夏季、秋季、冬季各1回 春季、繁殖期（初夏）、冬季各1回	ラインセンサス調査及び任意観察調査 夜間の任意観察調査
	植物	シデシャジン	過年度生育が確認された地点（改変予定地内及びその近傍） 播種もしくは株の移植先	土工工事着手時からトンネル工事に3年毎実施 播種もしくは移植後3年間実施	秋季1回 秋季1回	任意観察調査 任意観察調査
		生態系 ※クマタカ、アカイサンショウウオ、ヒガシヒダサンショウウオ ^{※1} は上述どおり	ネバタゴガエル ^{※2}	過年度生息が確認された沢 個体の移動先	土工工事着手時からトンネル工事に3年毎実施 移動後の3年間実施	梅雨期、初冬各1回 梅雨期、初冬各1回
	動物相、植物相		表流水が減少すると想定される溪流等	トンネル工事着手前1年間及びトンネル工事中の3年毎に実施	春季、夏季、秋季、冬季各1回	任意観察調査等
			工事施工ヤード及びその周辺	工事施工ヤード着手前の1年間実施	春季、夏季、秋季、冬季各1回	任意観察調査等

※1 環境影響評価時には、「ヒダサンショウウオ」であったが、平成30年に「ヒガシヒダサンショウウオ」として新種記載された。

※2 環境影響評価時には、「タゴガエル」であったが、平成26年に「ネバタゴガエル」として新種記載された。

4. 事後調査の結果

4.1 事後調査の実施状況

平成24年12月より本事業に着手しており、現在は土工工事、橋梁工事が概ね終了し、トンネルの調査坑工事が完了し、本坑工事に着手している段階である（表4-1参照）。

本報告書は、平成21年の環境影響評価書縦覧後、平成31年度までに実施した調査結果を報告する。

なお、平成22年8月に公表した事後調査計画書では、土工、橋梁、トンネルの各工事完了後及び供用後3年後に事後調査報告書を提出するが、トンネル工事においては長期にわたるため中間年次に適宜報告を行うこととしており、本報告はトンネル工事の中間年次報告にあたる。

また、土工と橋梁工の完了に伴う事後調査報告書の提出は、トンネル完成後に舗装工・道路附属施設工を実施するため、道路完成供用時と同時となる見込みである。

表4-1 事後調査の実施状況

項目	環境要素の区分	調査項目	調査地点	調査期間	年度											
					H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31(R1)	
工事	ヤード			-				11月								
	土工			-				5月								
	橋梁(池島本線橋)			-				8月								12月
	トンネル(調査坑)			-												
	トンネル(本坑)			-												2月
	工用道路			-				12月								
事後調査	河川水質	翁川における濁水等の処理施設の排水口より下流側	土工工事着手前からトンネル工事中の春季、夏季、秋季、冬季													
		工事による排水	公共用水域の排水口	土工工事着手前からトンネル工事中の月1回												
		地下水位	トンネル予定地周辺	土工工事着手前からトンネル工事中の月1回												
		トンネル掘削による地質	採取した試料を現地にて試験実施	トンネル工事中に採取した試料を順次試験												
		建設発生土	採取した試料を持ち帰り室内にて試験実施	建設発生土が発生する期間における建設発生土を他に利用する前												
	重要な地形及び地質	足神神社の湧水	足神神社の湧水及びその周辺(翁川下流部)	トンネル工事中の毎年月1回(断面法)及び常時監視 供用後の3年間												
	動物	クマタカ	クマタカの営巣地()	土工工事着手前からトンネル工事中の1月～8月までの月1回 供用後繁殖が確認されるまでの間(概ね3年間を想定)												
		アカインサンショウウオ及びヒガシヒダサンショウウオ	過年度生息が確認された沢 個体の移動先	1地点は橋梁工事中、残りはトンネル工事中の梅雨期、初冬、3年毎 供用後の3年間 移動後の梅雨期、初冬、3年間												補足調査
		鳥類【一般鳥類】	変更区域とその周辺()	土工工事着手前の春季、繁殖期(初夏)、夏季、秋季、冬季、1年間												
		鳥類【フクロウ類】	変更区域とその周辺()	土工工事着手前の春季、繁殖期(初夏)、冬季、1年間												
	植物	シデシャジン	過年度生育が確認された地点(変更予定地内及びその近傍) ※変更区域内での新規確認地点を含む	土工工事着手時からトンネル工事中の3年毎 供用後の3年間												
			播種先	播種後3年間												
			株の移植先	移植後3年間												
	生態系	ネバタゴガエル	過年度生息が確認された沢 個体の移動先	土工工事着手時からトンネル工事中の3年毎 供用後の3年間 移動後の3年間												
			動物相、植物相	表流水が減少すると想定される溪流等 工事施工ヤード及びその周辺	トンネル工事着手前1年間及びトンネル工事中の3年毎 供用後の3年間 工事施工ヤード着手前の1年間 供用後の1年間											

4.2 事後調査(土工、橋梁、トンネル工事中)

4.2.1 工事管理の一環として実施する項目

(1) 河川水質

1) 調査項目

土工工事やトンネル掘削等により発生する排水の放流先である翁川の水質を測定した。

事後調査及び環境保全措置の調査項目を表 4-2 に示す。

表 4-2 実施した事後調査及び環境保全措置の項目

区分	調査項目
事後調査の状況	河川水質を測定した。
環境保全措置の状況	なし

2) 調査地点及び調査方法

土工工事やトンネル掘削等による排水は、濁水等の処理施設に一時貯留し、浮遊物質等を沈殿させた後に翁川へ放流している。したがって、調査地点は翁川への排水口より下流部に設定し、「水質汚濁に係る環境基準」(昭和 46 年 12 月 28 日 環境庁告示第 59 号)に準拠した方法により河川水質を測定した。

測定項目については、工事により発生しうる有害物質として「人の健康の保護に関する基準」のうち重金属に分類される 8 項目とし、分析した。なお、シアンも重金属に分類されるが、人工化合物であり、自然の土中には存在しないことから項目から除外した。また、重金属 8 項目以外に、「生活環境の保全に関する基準」に含まれる全 5 項目を分析した。

調査地点及び調査方法を表 4-3、調査地点位置図を図 4-1 に示す。

表 4-3 河川水質の調査地点及び調査方法

調査項目	調査地点	調査方法
河川水質	翁川基準地点、河-本-3	水質汚濁に係る環境基準項目の水質分析を実施。 分析項目：カドミウム、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、セレン、フッ素、ホウ素、水素イオン濃度、生物化学的酸素要求量、浮遊物質量、溶存酸素量、大腸菌群数

【河川水質】

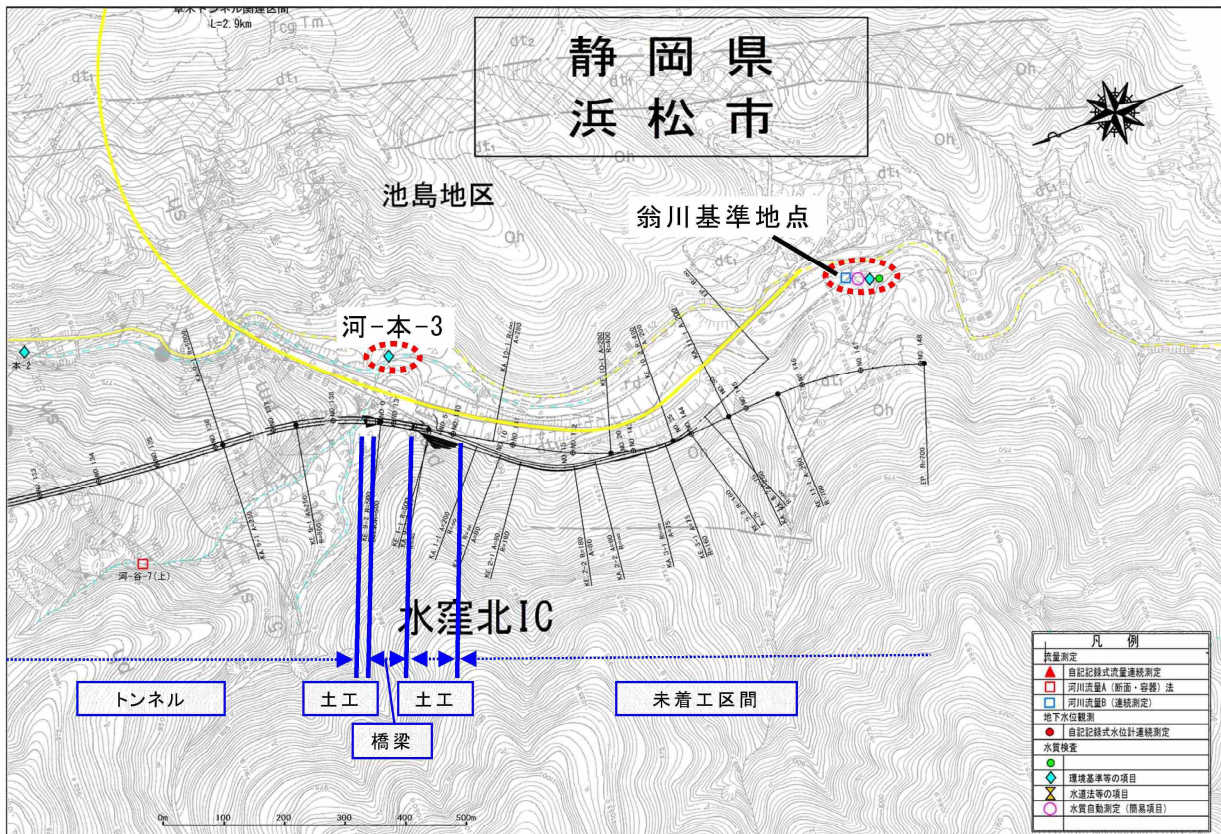
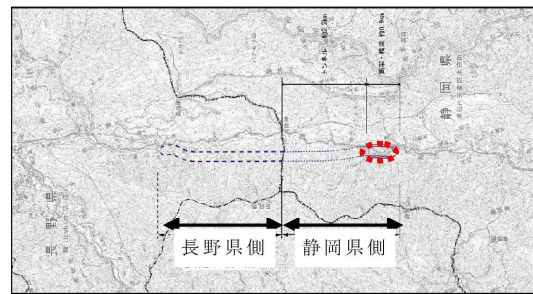


図 4-1 河川水質の調査地点位置図

3) 調査期間・頻度

土木工事着手前より開始し、トンネル工事が終了するまで調査を実施した。
 調査頻度は、毎年春季、夏季、秋季、冬季の4季各1回とした。
 調査期間を表4-4に示す。

表 4-4 河川水質の調査期間・頻度

調査項目	調査地点	年度	調査期間
河川水質	翁川基準 地点	平成25年度	7月17日、11月13日、2月10日
		平成26年度	5月7日、8月7日、11月5日、2月3日
		平成27年度	5月20日、8月19日、11月16日、2月15日
		平成28年度	5月24日、8月4日、11月9日、2月8日
		平成29年度	5月18日、8月21日、11月9日、2月14日
		平成30年度	5月22日、8月17日、11月12日、2月13日
		平成31年度	5月27日、8月21日、11月25日、2月12日
	河-本-3	平成24年度	6月27日、2月12日
		平成25年度	7月17日、11月13日、2月10日
		平成26年度	5月7日、8月7日、11月5日、2月3日
		平成27年度	5月20日、8月18日、11月17日、2月16日
		平成28年度	5月24日、8月4日、11月8日、2月6日
		平成29年度	5月18日、8月21日、11月9日、2月14日
		平成30年度	5月22日、8月17日、11月12日、2月13日
		平成31年度	5月27日、8月21日、11月25日、2月12日

4) 事後調査の結果

A) 河川水質

翁川基準地点、河-本-3 地点ともに、環境基準項目に関する調査結果は、概ね工事前から顕著な変化は見られない。

両地点とも環境基準値を上回る大腸菌群数を検出しており、夏季に数値が増加し、冬季には減少する傾向がある。

表 4-5 河川水質の測定の結果（翁川基準地点：健康項目）

地点名	採水日	基準項目（健康項目）							
		カドミウム (mg/L)	鉛 (mg/L)	六価クロム (mg/L)	砒素 (mg/L)	総水銀 (mg/L)	セレン (mg/L)	フッ素 (mg/L)	ホウ素 (mg/L)
定量下限値		0.0003	0.001	0.005	0.001	0.0005	0.001	0.08	0.02
基準値(環境基準)		0.003以下	0.01以下	0.05以下	0.01以下	0.0005以下	0.01以下	0.8以下	1以下
翁川基準地点	H25. 7. 17	0.0003未満	0.005未満	0.001未満	0.003	0.0005未満	0.019未満	0.1未満	0.02未満
	H25. 11. 13	0.0003未満	0.005未満	0.001未満	0.002	0.0005未満	0.020未満	0.1未満	0.02未満
	H26. 2. 10	0.0003未満	0.005未満	0.001未満	0.002	0.0005未満	0.021未満	0.1未満	0.02未満
	H26. 5. 7	0.0003未満	0.001未満	0.005未満	0.003	0.0005未満	0.022未満	0.1	0.02未満
	H26. 8. 7	0.0003未満	0.001未満	0.005未満	0.001未満	0.0005未満	0.023未満	0.1	0.02
	H26. 11. 5	0.0003未満	0.001未満	0.005未満	0.003	0.0005未満	0.024未満	0.09	0.02未満
	H27. 2. 3	0.0003未満	0.001未満	0.005未満	0.002	0.0005未満	0.025未満	0.08未満	0.02未満
	H27. 5. 20	0.001未満	0.005未満	0.04未満	0.001未満	0.0005未満	0.026未満	0.2未満	0.1未満
	H27. 8. 19	0.001未満	0.005未満	0.04未満	0.003	0.0005未満	0.027未満	0.2未満	0.1未満
	H27. 11. 16	0.001未満	0.005未満	0.04未満	0.003	0.0005未満	0.028未満	0.2未満	0.1未満
	H28. 2. 15	0.001未満	0.005未満	0.04未満	0.002	0.0005未満	0.029未満	0.2未満	0.1未満
	H28. 5. 24	0.0003未満	0.001未満	0.005未満	0.003	0.0005未満	0.030未満	0.08未満	0.02未満
	H28. 8. 4	0.0003未満	0.001未満	0.005未満	0.003	0.0005未満	0.031未満	0.09	0.02
	H28. 11. 9	0.0003未満	0.001未満	0.005未満	0.002	0.0005未満	0.032未満	0.10	0.02未満
	H29. 2. 8	0.0003未満	0.001未満	0.005未満	0.002	0.0005未満	0.033未満	0.10	0.02
	H29. 5. 18	0.0003未満	0.001未満	0.005未満	0.002	0.0005未満	0.034未満	0.09	0.02未満
	H29. 8. 21	0.0003未満	0.001未満	0.005未満	0.003	0.0005未満	0.035未満	0.08	0.02未満
	H29. 11. 9	0.0003未満	0.001未満	0.005未満	0.002	0.0005未満	0.036未満	0.08未満	0.02未満
	H30. 2. 14	0.0003未満	0.001未満	0.005未満	0.002	0.0005未満	0.037未満	0.090	0.020
	H30. 5. 22	0.0003未満	0.001未満	0.005未満	0.002	0.0005未満	0.001未満	0.08未満	0.02未満
	H30. 8. 17	0.0003未満	0.001未満	0.005未満	0.002	0.0005未満	0.001未満	0.120	0.02未満
	H30. 11. 12	0.0003未満	0.001未満	0.005未満	0.003	0.0005未満	0.001未満	0.100	0.020
	H31. 2. 13	0.0003未満	0.001未満	0.005未満	0.002	0.0005未満	0.001未満	0.11	0.03
R1. 5. 27	0.0003未満	0.001未満	0.005未満	0.002	0.0005未満	0.001未満	0.12	0.02	
R1. 8. 21	0.0003未満	0.001未満	0.005未満	0.002	0.0005未満	0.001未満	0.08未満	0.02未満	
R1. 11. 25	0.0003未満	0.001未満	0.005未満	0.002	0.0005未満	0.001未満	0.09	0.03	
R2. 2. 12	0.0003未満	0.001未満	0.005未満	0.002	0.0005未満	0.001未満	0.10	0.03	

表 4-6 河川水質の測定の結果（翁川基準地点：生活環境項目）

地点名	採水日	基準項目（生活環境項目）				
		水素イオン濃度 (pH) (-)	生物化学的 酸素要求量 (BOD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)	溶存酸素量 (DO) (mg/L)	大腸菌群数 (MPN/100mL)
定量下限値		-	0.5未満	1未満	0.5未満	-
基準値		6.5-8.5	1以下	25以下	7.5以上	50以下
翁川基準地点	H25. 7. 17	7.1	0.7	2	8.7	2
	H25. 11. 13	7.8	0.5未満	1未満	11	170
	H26. 2. 10	8.0	0.5未満	1未満	12	9.2
	H26. 5. 7	7.8	0.5未満	1未満	10	49
	H26. 8. 7	7.5	0.6	1未満	8.5	490
	H26. 11. 5	7.8	0.5未満	1未満	10	11
	H27. 2. 3	7.8	0.5未満	1未満	12	7.8
	H27. 5. 20	8.1	0.6	1未満	9.5	49
	H27. 8. 19	7.7	0.5未満	3	9.2	110
	H27. 11. 16	7.6	0.5未満	1未満	9.9	49
	H28. 2. 15	7.7	0.6	3	11	23
	H28. 5. 24	7.9	0.5未満	1	9.8	490
	H28. 8. 4	8.2	0.5未満	1	8.9	1700
	H28. 11. 9	8.3	0.5未満	6	11	49
	H29. 2. 8	8.1	0.5	1未満	11	2
	H29. 5. 18	8.0	0.5	1未満	10	170
	H29. 8. 21	8.0	0.5未満	2	9.6	490
	H29. 11. 9	8.1	0.5未満	1未満	10	240
	H30. 2. 14	8.0	0.5未満	1未満	12	4.5
	H30. 5. 22	8.0	0.6	1	10	130
	H30. 8. 17	7.9	0.5未満	1未満	10	490
	H30. 11. 12	8.3	0.5	1未満	10	94
	H31. 2. 13	8.0	0.5未満	1未満	11	4.5
	R1. 5. 27	8.1	0.5未満	1未満	10	23
R1. 8. 21	7.9	0.5未満	1未満	9.8	330	
R1. 11. 25	8.1	0.6	1未満	10	17	
R2. 2. 12	8.1	0.5未満	1未満	11.0	4.0	

※1 環境基準を超過した部分を で示す。

※2 生活環境項目の基準値は、類型指定「AA」を準用（翁川は類型指定なし）。

表 4-7 河川水質の測定の結果(河-本-3:健康項目)

地点名	採水日	基準項目 (健康項目)							
		カドミウム (mg/L)	鉛 (mg/L)	六価クロム (mg/L)	砒素 (mg/L)	総水銀 (mg/L)	セレン (mg/L)	フッ素 (mg/L)	ホウ素 (mg/L)
定量下限値		0.0003	0.001	0.005	0.001	0.0005	0.001	0.08	0.02
基準値(環境基準)		0.003以下	0.01以下	0.05以下	0.01以下	0.0005以下	0.01以下	0.8以下	1以下
河-本-3 (堰堤)	H24. 6. 27	0.0003未満	0.005未満	0.01未満	0.003	0.0005未満	0.002未満	0.10	0.02未満
	H25. 2. 14	0.0003未満	0.005未満	0.01未満	0.002	0.0005未満	0.002未満	0.1未満	0.02未満
	H25. 7. 17	0.0003未満	0.005未満	0.001未満	0.003	0.0005未満	0.057未満	0.10	0.02未満
	H25. 11. 13	0.0003未満	0.005未満	0.001未満	0.002	0.0005未満	0.058未満	0.1未満	0.02未満
	H26. 2. 10	0.0003未満	0.005未満	0.001未満	0.002	0.0005未満	0.059未満	0.1未満	0.02未満
	H26. 5. 7	0.0003未満	0.001未満	0.005未満	0.003	0.0005未満	0.060未満	0.09	0.02未満
	H26. 8. 7	0.0003未満	0.001未満	0.005未満	0.004	0.0005未満	0.061未満	0.12	0.02未満
	H26. 11. 5	0.0003未満	0.001未満	0.005未満	0.003	0.0005未満	0.062未満	0.08未満	0.02未満
	H27. 2. 3	0.0003未満	0.001未満	0.005未満	0.002	0.0005未満	0.063未満	0.08未満	0.02未満
	H27. 5. 20	0.001未満	0.005未満	0.04未満	0.003	0.0005未満	0.064未満	0.2未満	0.1未満
	H27. 8. 18	0.001未満	0.005未満	0.04未満	0.004	0.0005未満	0.065未満	0.2未満	0.1未満
	H27. 11. 17	0.001未満	0.005未満	0.04未満	0.003	0.0005未満	0.066未満	0.2未満	0.1未満
	H28. 2. 16	0.001未満	0.005未満	0.04未満	0.002	0.0005未満	0.067未満	0.2未満	0.1未満
	H28. 5. 24	0.0003未満	0.001未満	0.005未満	0.002	0.0005未満	0.068未満	0.08	0.02未満
	H28. 8. 4	0.0003未満	0.001未満	0.005未満	0.003	0.0005未満	0.069未満	0.09	0.02未満
	H28. 11. 8	0.0003未満	0.001未満	0.005未満	0.002	0.0005未満	0.070未満	0.08未満	0.02未満
	H29. 2. 6	0.0003未満	0.001未満	0.005未満	0.002	0.0005未満	0.071未満	0.08未満	0.02未満
	H29. 5. 18	0.0003未満	0.001未満	0.005未満	0.002	0.0005未満	0.072未満	0.08未満	0.02未満
	H29. 8. 21	0.0003未満	0.001未満	0.005未満	0.002	0.0005未満	0.073未満	0.08未満	0.02未満
	H29. 11. 9	0.0003未満	0.001未満	0.005未満	0.002	0.0005未満	0.074未満	0.08未満	0.02未満
	H30. 2. 14	0.0003未満	0.001未満	0.005未満	0.002	0.0005未満	0.075未満	0.08未満	0.02未満
	H30. 5. 22	0.0003未満	0.001未満	0.005未満	0.002	0.0005未満	0.001未満	0.08未満	0.02未満
	H30. 8. 17	0.0003未満	0.001未満	0.005未満	0.003	0.0005未満	0.001未満	0.11	0.02未満
	H30. 11. 12	0.0003未満	0.001未満	0.005未満	0.002	0.0005未満	0.001未満	0.09	0.02未満
	H31. 2. 13	0.0003未満	0.001未満	0.005未満	0.002	0.0005未満	0.001未満	0.11	0.02
	R1. 5. 27	0.0003未満	0.001未満	0.005未満	0.002	0.0005未満	0.001未満	0.12	0.02未満
	R1. 8. 21	0.0003未満	0.001未満	0.005未満	0.003	0.0005未満	0.001未満	0.08未満	0.02未満
	R1. 11. 25	0.0003未満	0.001未満	0.005未満	0.002	0.0005未満	0.001未満	0.08未満	0.02未満
R2. 2. 12	0.0003未満	0.001未満	0.005未満	0.002	0.0005未満	0.001未満	0.09	0.02	

表 4-8 河川水質の測定の結果(河-本-3:生活環境項目)

地点名	採水日	基準項目 (生活環境項目)				
		水素イオン濃度 (pH) (-)	生物化学的 酸素要求量 (BOD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)	溶存酸素量 (DO) (mg/L)	大腸菌群数 (MPN/100mL)
定量下限値		-	0.5未満	1未満	0.5未満	-
基準値		6.5-8.5	1以下	25以下	7.5以上	50以下
河-本-3 (堰堤)	H24. 6. 27	7.8	0.5未満	1	8.9	130
	H25. 2. 14	7.8	0.5未満	1未満	13	33
	H25. 7. 17	8.0	0.8	1未満	8.9	700
	H25. 11. 13	7.9	0.5	1	10	130
	H26. 2. 10	7.9	0.5未満	1未満	12	33
	H26. 5. 7	7.8	0.5未満	2	10	23
	H26. 8. 7	7.8	0.5未満	11	8.8	270
	H26. 11. 5	8.0	0.5未満	1未満	10	33
	H27. 2. 3	7.8	0.5未満	1未満	12	23
	H27. 5. 20	7.9	0.7	1未満	9.5	49
	H27. 8. 18	7.9	0.8	24	9.5	49
	H27. 11. 17	7.7	0.5未満	1未満	10	23
	H28. 2. 16	7.6	1	2	12.2	6.8
	H28. 5. 24	7.9	0.5未満	1未満	9.7	330
	H28. 8. 4	7.9	0.5未満	1未満	10	490
	H28. 11. 8	8.1	0.5未満	1未満	10	130
	H29. 2. 6	7.9	1.4	1未満	11	21
	H29. 5. 18	7.8	0.5未満	1未満	10	33
	H29. 8. 21	7.9	0.5未満	1未満	9.9	170
	H29. 11. 9	8.0	0.5未満	1未満	10	70
	H30. 2. 14	7.9	0.5未満	1未満	12	11
	H30. 5. 22	8.0	0.5 未満	1	10	27
	H30. 8. 17	7.9	0.5未満	1	9.6	790
	H30. 11. 12	8.3	0.5未満	1未満	10	79
	H31. 2. 13	7.9	0.5未満	1未満	11	4.5
	R1. 5. 27	8.1	0.5未満	1未満	10	79
R1. 8. 21	8.0	0.5未満	1未満	9.2	230	
R1. 11. 25	8.2	0.5未満	1未満	10	33	
R2. 2. 12	8.1	0.5未満	1未満	11	23	

※1 環境基準を超過した部分を で示す。

※2 生活環境項目の基準値は、類型指定「AA」を準用(翁川は類型指定なし)。